

2026年 JTA テニスルールブック 主な改訂点

2026年3月7日

※ページ数はルールブック 2026年(2025年)

P.45 (45)

Q7) 電子機器の使用

選手は、試合中いかなる電子機器も使用することができない。スマートウォッチは電源が切られた状態でも試合中の着用は認められない。

ITFの大会で着用が認められている、データを確認する画面のついていない Whoop デバイスは着用することができる。

電動ファン付きジャケット・ベストの着用および電動ファンについては、各エンドチェンジ・セットブレイクの時間内に限り使用することができる。

p.109 (111)

7. ドロー作成の期日

ドローの作成は、アクセプタンスリストに採用したランキングを用いて **立会人(選手、ディレクターなど第三者)の同席のもと公開で行う。**

- ・ 予選ドロー作成は、予選前日 14 時以降に実施する。
- ・ 本戦ドロー作成は、予選終了後に行うものとする。予選終了前に本戦ドロー作成を行わなければならない状況の場合、予選開始後から本戦前日までの間に、JTA 公式トーナメント競技規則の 3～12 にある指示に従ってドローを行うものとする。

P.124 (126)

26. トイレットブレイクと着替え

トイレットブレイクは男女ともにセットブレイク時に **指定された近くのトイレ**で取ることができる。ただし、状態が深刻であるとアンパイアが判断した時は、緊急措置としてトイレットブレイクを認める。

p.124 (126)

ITF ルールオブテニス規則 30 コーチングの変更に伴い、**オフコートコーチングを不採用、または内容の変更を希望する大会は、開催要項にその内容を記載しなければならない。**

ITF のルールオブテニス規則 30 コーチングの変更に伴い、~~オフコートコーチングに関する JTA 規則は 2025 年度の **トライアル**として以下の通り規定する。オフコートコーチングを不採用、または内容の変更を希望する大会は、事前に JTA へ申し出て承認を得て、開催要項にその内容を記載しなければならない。~~

P.132-133 (136-137)

両方の袖それぞれに 39 cm²以内の商業ロゴまたは製造業者ロゴを各2つ。商業ロゴまたは製造業者ロゴを 39 cm²以内の1パッチに2つまで付けられる。文字を入れてもよい。文字のない製造業者ロゴは 77.5 cm²以内で1つでも複数繰り返しても、各袖に製造業者ロゴがない場合はの1つの製造業者ロゴまたは商業ロゴの代わりに、袖に、またはわきの縫い目のどちらかに付けてよい。

(女子、2段目)

「袖ありシャツの前身頃または襟に、39 cm²以内の商業ロゴまたは製造業者ロゴを2つ。

【男女共通】バッグの商業ロゴの大きさ

M+2xC 4sq 6sq

P.181 (181)

7) ヒートルール ON の時、1セットオールになった場合、両選手に確認後「ヒートルール基準を超えたため、10分間の休憩を取ります」

8) マッチタイブレーク方式の試合で1セットオールになった場合

「セットブレークの後、10ポイントのマッチタイブレークを行います。」

P.195 (195)

12) 各判定とコールをする権利者は以下の通りとする。

- a. 「フォールト」「アウト」「グッド」はネットから自分側のプレーヤー・チームのいずれかがコールでき、その判定が成立する。
- b. 「ネット」「スルー」「タッチ」「ノットアップ」「ファウルショット」は両プレーヤー・チームのいずれかがコールでき、その判定が成立する。
- c. 「フットフォールト」はレフェリー（アシスタントレフェリー）、ロービングアンパイアのいずれか。ただしコートの外からコールする場合は、選手に周知していることを条件とする。

P.196 (196)

9) 必要があれば、コート内外からフットフォールトのコールやプレーヤー・チームの判定をオーバールールできる。しかしプレーヤー・チームからのアピールの後にオーバールールすることはできない。

p.197 (197)

c. レフェリー（アシスタントレフェリー）、ロービングアンパイアのいずれかがコート外にいて目に余るミスジャッジを目撃した場合は、コートへ入り、返球が正しく相手コートに入った場合は故意ではない妨害（1回目）としてポイントレットにする。ただし、ミスジャッジの前に打たれたボールが明らかなウイニングショットまたはエースだった場合は、ミスジャッジをしたプレーヤー・チームの失点となる。

p.198 (198)

3. ソロチェアアンパイア（SCU）とセルフジャッジ

国内大会のみで採用される SCU 方式は、ラインアンパイアがつかず、プレーヤーがラインの判定をセルフジャッジ行い、SCU がライン以外の判定を行う。SCU はそのプレーヤーのライン判定が明らかに間違っていると判断した場合、直ちにオーバールールし、次の通り処理する。ただし、プレーヤーがアピールをした後に、オーバールールすることはできない。

- 1) プレーヤーの「アウト」「フォールト」のコールを SCU が「グッド」とオーバールールした場合、そのプレーヤー・チームは失点となる。
- 2) 選手自身でコールを訂正した場合は、セルフジャッジの方法 15) 誤ったコールを訂正した場合（クレーコートは除く）に従う。
- 3) ネットに触れたあとネットを越えてバウンドしたサービスを、レシーバーが「フォールト」とコールし、SCU が「グッド」とオーバールールした場合は（サービスの）レットとなる。